

はまなす

公益社団法人 北海道交通遺児の会

ホームページ <http://h-koutuuijinokai.or.jp/>

事務局 札幌市中央区南1条東1丁目
大通バスセンタービル1号館6階

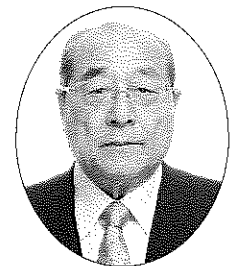
電話 011 (232) 8688

FAX 011 (232) 8689

平成30年1月発行



平成29年12月3日(日) ホテルポールのスター札幌



新春のごあいさつ

公益社団法人北海道交通遺児の会

会長 奈良幹男

新年あけましておめでとございます。
皆様におかれましては、つつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

当会は、会員の皆様をはじめ多くの篤志家の皆様の温かいご支援により順調に運営させていただいており、日頃から特段のご理解とご協力を賜っておりますことに深く感謝申し上げます。

昨年の北海道は、九月に、台風から変わった温帯低気圧の影響を受け、道路や河川、水産施設などに被害がありました。自然災害はいっ起ころるか分かりませんので、日頃からその備えを忘れないことが大切です。

一方、一昨年の台風十号で、土砂崩れや橋の落下により通行止めとなっていた、道央と道東を結ぶ大動脈である「日勝峠」が、十月下旬にやっと通れるようになり、観光や物流に活気が出てきたことは大変喜ばしいことです。

また、本年は、「北海道」が命名されてから百五十年の節目を祝う各種事業の展開や、札幌延伸に向けた北海道新幹線建設の促進、さらなる来道外国人観光客の増加、宇宙への夢を乗せたロケットの打上げなど、北海道がますます元気な一年となることを期待しております。

さて、当会が支援している交通遺児数は減少傾向にありますが、子供さんが安心して高校生活を送れるよう、本年度から奨学金を増額致しましたので、ご利用いただきたいと思います。そのほか、小・中・高校の入学祝をはじめ修学旅行の支援、年末における図書カードの贈呈など、交通遺児の支援激励に努めているところですが、今後、さらなる充実を図って参りますので皆様の一層のご協力をよろしくお願い申し上げます。

不幸にして交通遺児・家族となられました方々には、さまざまな困難に遭遇されることと思いますが、何事にも負けない強い意志を持って生活していただくことを切に願っております。

皆様方のご健勝とご多幸を心よりご祈念申し上げ新年のご挨拶といたします。

平成29年度の主な事業の実施状況をお知らせします

◎育英奨学事業

高校生に対する奨学金の支給

右表のとおり39名の方に月額2万円（年額24万円）を、6月と12月に分けて支給しました。

新入学児童生徒に対する祝金の贈呈

小学校新入学児童2名、中学校新入学生徒14名、高校新入学生徒22名の計38名に、1人2万円を贈呈しました。

修学旅行支援金の支給

小学生1人1万円を3名、中学生1人2万円を17名、高校生1人3万円を10名の合計30名に支給しました。（平成29年12月までの分。最終締切は平成30年1月25日）

図書カードの贈呈

お子さん193名に、クリスマスカードに添えて1人3千円分の図書カードを贈呈しました。

◎慰霊祭

第43回交通事故物故者慰霊祭を、交通事故撲滅祈願と併せて、道、道警、交通安全関係団体等のご支援ご協力をいただき厳粛に行いました。

実施日 9月3日（日）

会場 札幌斎場

参加者 47名



<奨学金の支給>

区分	1年生	2年生	3年生	計
新規	17	3		20
継続		8	11	19
計	17	11	11	39

◎交歓交流事業

夏・秋のレクリエーション

次のとおり、夏と秋のレクリエーションを予定しましたが、いずれも参加申込みが少なく、やむを得ず中止いたしました。

- 夏；7月2日（日） 果物狩り
恵庭市の「えこりん村」
- 秋；10月1日（日） ボーリング大会
ホテルでの昼食会

年末交歓会

食事をしながら「バルーンアーティスト♪あい」さんのバルーンアートショーやビンゴゲームをして、楽しい時間を過ごしました。

実施日 12月3日（日）

会場 ホテルポールスター札幌

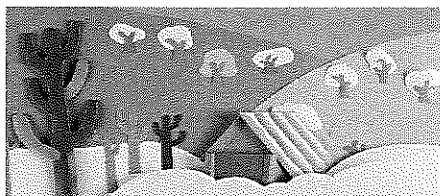
参加者 33名



◎交通遺児実態調査

この調査は、多くの皆様の協力をいただいて毎年実施しているもので、本会事業の基礎資料として活用しております。

平成29年度調査における道内の交通遺児数は259名でした。



区分	幼児	小学生	中学生	高校生	計	世帯数	家族数
札幌市	3	16	22	42	83	56	183
石狩地区	—	—	5	5	10	8	24
渡島地区	—	6	5	4	15	9	32
檜山地区	—	—	—	—	—	—	—
後志地区	1	4	7	4	16	9	28
空知地区	—	2	5	7	14	12	34
上川地区	—	4	12	12	28	19	64
留萌地区	—	—	—	2	2	2	8
宗谷地区	—	—	—	1	1	1	2
オホーツク地区	—	1	5	9	15	10	31
胆振地区	—	3	4	10	17	11	32
日高地区	1	1	3	7	12	8	28
十勝地区	—	5	5	9	19	12	38
釧路地区	4	8	5	5	22	13	44
根室地区	2	2	—	1	5	3	14
合計	11	52	78	118	259	173	562

温かいご支援ありがとうございます

次の方々から浄財が寄せられました。平成29年1月1日から12月31日までの分を報告（順不同）します。

◎寄付金

(単位:円)

ご寄付者名(敬称略)	金額	ご寄付者名(敬称略)	金額
匿名	12,000	函館新聞社	10,000
札幌中古自動車販売協会	241,000	北海道中央バス労働組合	300,000
宮本剛典	14,000	アトミクス(株)	300,000
MS保険サービス北海道(株)	130,400	JAさっぽろ女性部 厚別支部	15,000
(株)丸日日諸産業 役職員一同	40,000	(一社)北海道警友会	100,000
大友運送(株)河越誠一	30,000	奈良幹男	500,000
(有)ミートショップあんぼ	5,000	(株)サミットインターナショナル	500,000
匿名	100,000	匿名	3,281,700
(株)中央バス自動車学園	24,359	ワンボックスレンタカー	113,733
(一社)北海道指定自動車教習所協会	200,000	(一社)札幌斎場	150,000
艶歌名人会	30,000	幻影会	103,585
山光運輸(株)	500,000	札幌新開発(株)桑園自動車学校	100,000
北海道商工会青年部連合会	1,785,711	丸利伊丹車輜(株)	20,674
(一社)函館地区トラック協会	90,000	札幌清田ライオンズクラブ	77,823
札幌遊技業協同組合	300,000	共通運送(株)	200,000
マルシン商事	24,000	札幌会	54,000
(株)三笠精算事務所	32,200	(株)北海道新聞社	1,302,519
(株)ほくていホールディングス	300,000	匿名	2,000,000
北海道エネルギー(株)	7,096	札幌輸入車販売促進協会	301,621
三愛自動車工業(株)	300,000	(一社)日本自動車販売協会連合会札幌支部	10,000
札幌地区トラック協会札幌白石支部	43,000	(独)自動車事故対策機構札幌主管支所	10,000
耕友五月会	42,600	JA共済連北海道役職員一同	191,365
キョーツー(株)	10,000	(一社)すすきの観光協会	50,000
砂原純子	10,000	全国引越専門協同組合連合会	240,450
曹洞宗 中央寺 吉祥婦人会	173,177	故平谷輝人	25,000
匿名	700,000	宮井能雅	50,000
(株)エース	1,000,000	北海道西濃運輸労働組合	350,000
島田禮子	300,000		

◎募金箱

設置者名(敬称略)	金額	設置者名(敬称略)	金額
マックスバリュ北海道(株)	2,274,678	平和園 白石店	10,388
(一財)弘仁会	6,849	平和園 太平店	13,585
札幌医科大学事務局(東警備室)	9,153	第一ホテル翠山亭	22,699
札幌医科大学事務局(防災センター)	5,801	ホテル鹿の湯	29,380
鳥八の魚や	8,857	シダックスフードサービス北海道(株)	10,610
北海道環境生活部道民生活課	1,798		

◎その他の支援

ご寄付者名(敬称略)	寄付の内容
大成建設(株)札幌支店	北海道日本ハムファイターズシーズンチケット 30枚
札幌アカシヤライオンズクラブ	慈母観音供養祭 参加者 10名
JA共済連北海道	コンサドーレ札幌観戦チケット 170枚
	クリアファイル・テープのり・シリコンスプーン 各50個
全日糧労働組合・ロババングループ従業員組合	クリスマスケーキ 20個
(株)大川	チャリティーいけばな展2017 50枚

奨学生からの寄稿

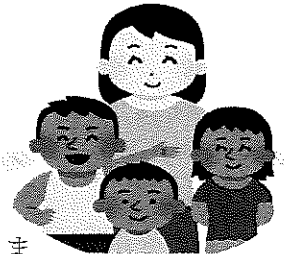
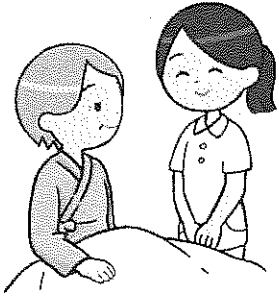
「私の夢」

高校三年生

私は将来、看護師になります。理想の看護師になるために、学びたい大学にも合格しました。

私が看護師になると決意したきっかけは、父です。私は父を幼い頃に亡くし、父のことは全く覚えていません。母や祖父母、父の知り合いの方の話を聞いて、勝手ながら想像することしか出来ません。でも、父はある言葉を歩くことも出来ていない私にメモで残してくれました。その言葉は「元気でほしい女性になってほしい。」父にとっては父という存在をたと思います。でも、私にとっては父という存在を心の中で生かすことができ、自分はどうあるべきかを分かってくれる軸となった言葉です。また、母は私に「お父さんと一緒に、貴方には人の役に立つ人になってほしいと話したことがある。」と教えてくれました。これを聞いて、漠然と「人の役に立つ人」になろうと思いました。

それから、何故、看護師という夢を持ったかというところ、マザーテレサに出会ったからです。マザーテレサは決して医療従事者ではありません。でも、私の中で、医療の知識・技術・資格があり、マザーテレサのように人に寄り添っている人は看護師だと結びついたからです。看護師になりたい、「人の役に立つ人」になる為に看護師として努力し、沢山の人を救いたいと感じ、目指すようになり

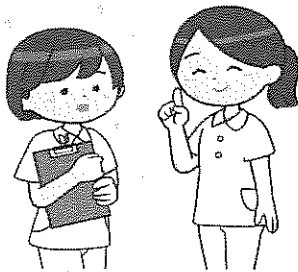


ました。

中学、高校での看護体験には必ず参加し、患者さん一人ひとりの体調を明確に把握することの大変さを感じましたが、同時に、患者さんから笑顔で感謝を言われたときは、やりがいを感じました。

また、高校生の時から何か貢献できることはないかと考え、東日本大震災のボランティアに参加しました。このボランティアでは、沢山の方と話していくことで、不安な気持ちが前向きになってきたと感じている方が多く、心に寄り添う大切さを学びました。そして、将来、国際看護師も視野に入れていたため、語学を学びたいと思い、短期留学も経験しました。高校での三年間は本当に宝物で掛け替えのないことばかりで、色々な方と出会い交流したことで、自分でも分かるくらい成長しました。

私の進学する大学には、スピリチュアルケアというカリキュラムがあります。スピリチュアルケアとは、重病や死期を悟った方の心の苦痛に寄り添い、緩和するケアです。このカリキュラムを学ぶことで沢山の人に寄り添うことが出来ると考え、進学を決めました。また、大学では、今よりもっと沢山のことを経験したいです。留学や実習だけでなく、ボランティアにも積極的に参加したいです。学校生活を通して、コミュニケーション力を高め、何事にも順応できる看護師を目指していきたいです。最終的には、助産師の資格を取得することが目標です。父の言葉を胸に、自分を信じ、一生懸命勉強して理想の看護師になる為に努力していきます。



事務局より

- ◆ 平成29年度から、高校生の奨学金が増額され、月額2万円になりました。ご利用いただき、充実した高校生活を送られることを願っております。
- ◆ 本会の事業案内は、該当する方に直接郵便で送付しておりますが、該当しているのに届かない場合は、事務局までお問い合わせください。
- ◆ なお、本会ホームページでは、各事業を紹介しているほか奨学金などの各種育英奨学事業の申請書が取り出せるようになっておりますので、ご活用ください。
- ◆ 本会が実施する事業は、全て贈呈であり、返済の必要がありません。どうぞ遠慮なくご利用ください。本会へのご意見ご要望がございましたら、遠慮なくお寄せください。
- ◆ 毎年、次の機会を利用して、本会に対する意見や要望、相談などをお受けしておりますので、是非お寄せください。
- ・ 年間の行事予定の送付時（3月）
- ・ 修学旅行支援金の案内時（5月）
- ・ 図書カードの贈呈時（12月）

◆ 事務局スタッフ紹介

専務理事兼事務局長 堀 廣
職員 城地 知子
職員 勝見 真奈美

◆ 事務局

TEL 〇一一・二三二・八六八八
FAX 〇一一・二三二・八六八九

会員の異動（平成29年度・敬称略）

〈正会員〉
入会 一般社団法人 北海道ハイヤー協会

